

調査結果の活用

1

調査結果の知らせかた

いろいろな調査で得た結果を、たくさんの人に知ってもらうにはどうしたらよいでしょうか。田園自然再生活動に取り組んでいるグループの例を紹介しながら、知らせかたの方法を考えてみます。

●壁新聞をつくる

紙面の構成、配色、レイアウト、図表を工夫するなどして、何を伝えたいのかをはっきりさせ、読む人の立場になって表現を工夫してみましょう。楽しみながら作ることが大切です。

できあがった壁新聞は地域内での発表にとどまらず、壁新聞コンクールなどにも応募して、たくさんの人に知ってもらう工夫と努力も必要です。



【壁新聞の例】

宮城県・登米市立新田第一小学校
『ふるさといっぱい新聞』



【広報誌の例】

宮城県・登米地方振興事務所
『広報・広聴通信』

●地域マップをつくる

生きもの調査で確認された生きものや、地域に残したい、あるいは復活させたい生きものや風景などを地図に落とし込み、田園自然再生計画を描いた地域オリジナルの地図を作ってみましょう。

できあがった地図は、その後の田園自然再生活動に役立てていくとともに、地域の取組みを広く紹介していくための材料として活用します。



